

科目名	教育行政学 Educational Policy and Administration						
科目担当者	山本 優 YAMAMOTO Yu						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [専門教育科目 自由科目] 経営学部・経営学科 [専門教育科目 自由科目]					ディプロマポリシーとの関連	(5)(6)
授業の概要	<p>本科目は、現代の学校教育に関する社会的・制度的な事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。</p> <p>学校をめぐる状況は絶えず変化しており、それに対応する形で様々な政策がなされている。本科目では、個別の制度や政策への理解はもちろんだが、それ以上に、教育政策・行政の基本的な概念や政策選択における対立軸を検討し、理解することに重点を置く。</p> <p>教育政策・行政においてどのような価値や規範的な考え方があるかの理解を深める。さらに、教育以外の重要な政策との関係の中でどのように教育政策・行政が可能であるかを考える力を養成する。</p>						
授業の到達目標	<p>①公教育の原理や公教育制度を構成している教育関係法規を理解している。</p> <p>②学校をめぐる近年の社会状況の変化や、教育政策の動向を理解している。</p> <p>③教育政策に付随する価値観や規範的な考え方を理解し、現行の政策に対する評価を自らの考えを踏まえて考察・検討することができる。</p>						
授業計画・内容	1	オリエンテーション／ 戦後の教育政策・行政の概観					
	2	学校の社会化機能					
	3	自由と規制—政府による規制・計画の具体的な局面—					
	4	学校教育の量的拡充と質的拡充					
	5	投資としての教育と福祉としての教育—高等教育及び就学前教育の無償化—					
	6	選抜と育成					
	7	教育における自由と平等					
	8	投入における機会均等と成果における機会均等					
	9	事前統制と事後統制					
	10	国の教育政策過程—権力の集中と分散—					
	11	国と自治体の関係性—集権と分権—					
	12	教育委員会制度—統合と分立—					
	13	民主性と専門性					
	14	教育行政と他分野との連携					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	事前に授業で扱う政策や制度について、概要を調べる。また、様々なメディアから、それらの政策や制度に関する批評を調べ、まとめておく（毎週2時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	授業での説明や授業中の他者の発言を整理したうえで、自身の考えや意見をまとめる（毎週2時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験 授業中の小テスト					70% 30%	①～③ ①～③
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	特に指定しない。						
参考文献	<p>主な参考文献は以下の通り。</p> <p>・村上祐介・橋野晶寛,2020,『教育政策・行政の考え方』有斐閣。</p>						
その他	<p>・『小学国語 漢字の正しい書き方ドリル 3年』（旺文社）を購入し、取り組んでおくこと。</p> <p>・「人間と教育」を合わせて受講することでより理解が深まります。</p>						